

カタクチイワシシラスの成長における季節変化

水産試験場

[研究のねらい]

カタクチイワシシラスは船びき網漁業の主要対象種であり、本県漁業者は地先に来遊したシラスのみを利用します。当試験場では魚体が小さい場合や漁獲量が少ないと予測された場合には成長を待つて漁獲することを推奨しています。本研究では、来遊したシラスを有効に利用することを目的に、成長の季節変化を調べました。

[研究の成果]

- ①成長速度は1日あたり約0.3mm(1月)から0.7mm(10月)の範囲でした(図1)。
- ②成長速度の季節変化は水温の季節変化と対応していました。すなわち、成長速度は水温が高い方が高いと考えられます(図2)。

[成果の活用面・留意点]

来遊したカタクチイワシシラスの魚体が小さい場合は、水温(季節)を考慮して禁漁期間を決定する必要があります。

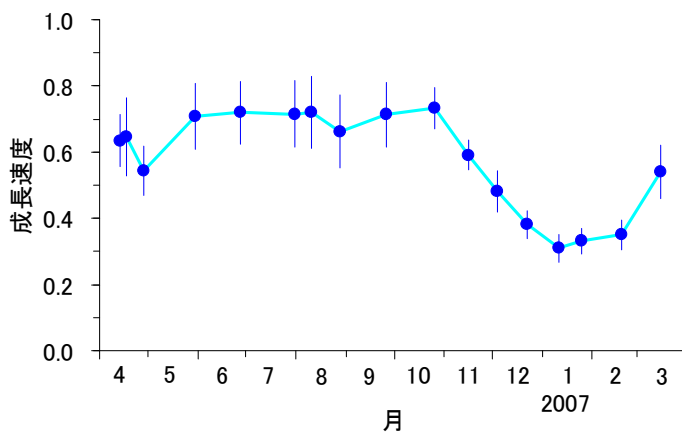


図1 成長速度の季節変化

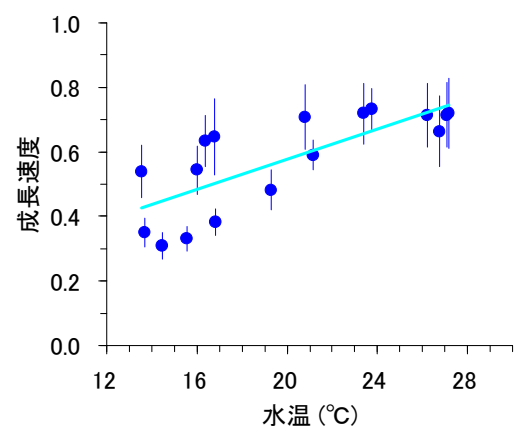


図2 水温と成長速度との関係

* 成長速度は最近5日間の平均成長率 (mm/日)で示した